



第3回 みどり戦略学生チャレンジ 近畿大会

応募
受付

広げよう！
みどりのアイデア

みどりの
食料シス
テム戦
略

環境にやさしい食料・農林水産業の実現を目指す「みどりの食料システム戦略」。
温室効果ガス削減、生物多様性の保全、土壌の劣化防止など、地球規模の課題に対応する
ためには、物資の調達から消費に至るまで、食料システム全体を通じた取組が不可欠です。
持続可能な食と農林水産業の未来を考えるきっかけに！あなたも「みどり」に挑戦してみませんか？

応募方法

みどりの食料システム戦略に関する取組※を
ポスター1枚にまとめて提出。

※有機農業、未利用資源、食品ロス対策など

本大会は、みどり戦略学生チャレンジの地方ブロック大会として、
近畿地域2府4県の学生の皆さんを対象に、みどりの食料シス
テム戦略に基づく取組の成果を募集し、審査・表彰を行います。
また、特に優秀と認められた取組には、全国大会として審査、農林
水産大臣賞をはじめとした賞を授与・表彰します。

みどり戦略の
詳細はこちら



前回の受賞
取組紹介



応募対象

高校の部

高等学校、高等専修学校、高等専門学校（3年生以下）
の学生等により構成されるグループ又は個人

大学・専門学校の部

大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校（4年
生以上）の学生等により構成されるグループ又は個人

※令和8年11月23日時点で在学している者に限ります。
※農業高校、農業大学校等の農業に関係する教育機関に限らず、
広く高校、大学・専門学校の学生を対象とします。

募集期間



参加登録期間
4/15～7/31

ポスター提出期間
8/1～11/23

取組実施期間
1/1～11/23

※この期間より前から継続している取組であっても、
当該期間内に実施されているものは対象に含みます。

第2回みどり戦略 学生チャレンジ近畿大会 兵庫県内の受賞校紹介

学生チャレンジの
詳細はこちら



優秀
チャレンジ
賞



データに基づく施肥の最適化と
持続可能な農業への応用

関西学院大学
アカデミックコモンズ・プロジェクト
関西学院AgriNOVA

後援 GREEN×EXPO協会

GREEN×EXPO 2027とは？

2027年3月から、神奈川県横浜市上瀬谷
で開催。「幸せを創る明日の風景」をテーマ
に、循環型社会の構築、脱炭素社会、生物多
様性の回復といった地球規模の課題解決に
向けて、世界のみなさんと共に具体的アクション
を創り出します。



キラ☆
現場にて

選ばれる野菜作りを次世代へ繋ぎたい！

《宍粟市 藤木農園 藤木 茂暁さん》



宍粟市で水稲、トウモロコシ、メロン、トマト等の栽培を行う、藤木農園 藤木 茂暁さんにお話を聞きました。

－就農したきっかけは？－

学生の頃は農家を継ぐことは全く考えていませんでしたが、専門学校やいろいろな経験を経て、結果的に自分の進む道だと考えるようになりました。

普通科の高校を卒業後、2年間園芸の専門学校に通いましたが、そこで、“農家の息子”という自分と同じ境遇の同世代に出会い、農業への向き合い方も決まったような気がします。その後、種苗会社に就職し、しばらくして実家に戻り、農業経営に本格的に携わりながら、現場の経験を重ねています。



(藤木 茂暁さん)

－大事にしていることは？－

何か特別なことをするのではなく、美味しい野菜をしっかりと作り、消費者の皆さんに選んでいただけることが大切だと考えています。そのためにも、日々農業に励まなくてはいけないなと思っています。

現在、トマト、菜花、メロン等を栽培しており、スーパーや直売所へ出荷しています。やまさきゆめメロンは、本州では珍しい北海道の品種で、ネット販売もしており、毎年大人気です。

また、全国農業青年クラブ連絡協議会（4Hクラブ）の事務局次長をしています。4Hクラブでは、プロジェクト活動を中心に、消費者や他クラブとの交流、地域活動を行っています。



(やまさきゆめメロン)

強い香りとジューシーな赤い果肉が特徴！

なかでも、宍粟市の地元農業者で構成される「宍粟つちのこクラブ」では、小学生を対象に、玉ねぎの苗植え体験や収穫体験を行っています！

－今後の展望は？－

今後、親から経営を継承し二代目となる予定です。両親が築いた農業を大切に、経営の地盤を固め、安定した経営を三代目に繋いでいきたいです。

また、地元だけでなく、全国単位での4Hクラブの活動を続けながら、若手農業者同士がつながり、気軽に相談し合える場づくりにも力を入れていきたいと考えています。



藤木農園 Instagram



淡路島手延べそうめんが地理的表示（GI）として登録されました

農林水産省は、令和8年3月25日、淡路島手延べそうめん（兵庫県）、米良糸巻大根（宮崎県）、南関素麺（熊本県）、北海道米（北海道）の4産品を新たに地理的表示（GI）として登録しました。

今回、「淡路島手延べそうめん」の登録に伴い、兵庫県のGI登録産品は6産品となるとともに、近畿のGI登録産品は18産品となりました！淡路島手延べそうめんは、兵庫県南あわじ市を生産地とし、麺の細さ、のどごしの良さ、コシの強さ、上品な味わいや昔ながらの製法による希少性の高さなどが高く評価されています。江戸時代から続く天日干しの風景は「白糸の芸術」と称され、冬の風物詩として島の人々に親しまれています。



淡路島手延べそうめん

「地理的表示(GI)保護制度」とは？

その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度で、GIマーク（地理的表示法に基づく登録標章）を使用することができ、地理的表示産品であることの証となります。

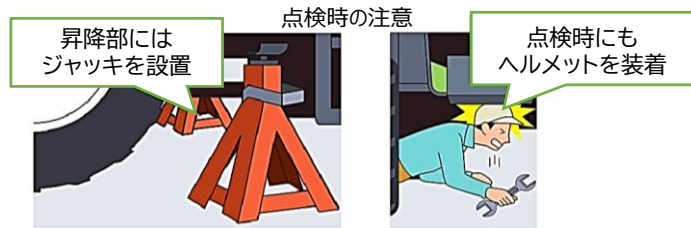
【詳しくはこちら】



農作業安全対策 久しぶりの農作業前には点検・整備を！

令和8年2月に公表された、令和6年の農作業事故死亡者数は287人と、前年より51人増加しています。事故区分別にみると、農業機械作業による事故が最も多く、全体の54.4%を占めている状況です。

全国的に農繁期に入り、久しぶりに農業機械を動かしている方もいらっしゃると思いますので、機械を動かす前には、今一度、取扱説明書を読み、点検・整備を行いましょ。



点検・整備を行う際には、ヘルメットを装着しましょう。機械は平坦で広い場所に置き、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けた状態で行いましょう。昇降部を確認する際には、ジャッキで固定をするなど落下防止対策をしっかりと行いましょう。

道路運送車両の保安基準改正により、令和9年1月1日以降に製造された乗用型トラクターでは、道路を走行する際にシートベルトの着用が義務化されます。

乗用型トラクターの転落による事故では、シートベルトの装着をしていなかったため投げ出され、トラクターの下敷きになった事例がありました。安全対策をしっかりと行い、着用の義務化が開始される前から、道路走行時に限らず、シートベルトの着用を習慣化させましょう。



トラクターのシートベルト着用義務化について→



兵庫県立農業大学校で有機農業アカデミーが開講しました

令和8年4月8日（水曜日）、県立農林水産技術総合センター（加西市）において、「有機農業アカデミー開講記念行事」が開催されました。

兵庫県拠点の飯嶋地方参事官が来賓として開講式に出席し、新たに学びをスタートさせる学生たちに向けて激励の言葉を述べました。



【テープカットの様子】



【祝辞を述べる飯嶋地方参事官】

兵庫県では、有機農業の取組拡大を図るため、県立農業大学校に「有機農業アカデミー（有機農業課程）」を新たに開講しました。

本課程では、「経営として成り立つ有機農業」を実践する担い手や、地域の有機農業を牽引するリーダーとなり得る人材の育成を目指しています。



【教育棟とビニールハウス】

教育期間は1年間、年齢制限なしとし、カリキュラムは、座学3割、実習7割の実践的な内容となっています。

実習では個別に割り当てられたほ場（露地・ハウス）を各自が管理しながら、有機農業の実践的な技術を習得するとともに、マーケティングも含め、生産から流通・販売までを体系的に学びます。

詳しくは農業大学校ホームページで→



令和8年産における水田活用予算の見直しについて

先般、令和8年度予算が成立し、水田活用直接支払交付金等は2,752億円となりました。
この交付金は、食料自給率・自給力の向上に資する麦、大豆、米粉用米等の戦略作物の本作化とともに、地域の特色をいかした魅力的な産地づくりや畑地化による高収益作物等の定着等を支援してまいります。
令和8年度において一部見直しが行われましたのでお知らせします。



支援内容の見直し

◇ 飼料用米の交付単価について

令和6年産から飼料用米のうち一般品種での取組については、標準単価を令和8年度までに段階的に引き下げ
(令和8年産：標準単価6.5万円(収量に応じて5.5~7.5万円/10a))

◇ 畑地化促進助成(畑地化促進事業と一体的に実施)

水田を畑地化し、高収益作物やその他の畑作物の定着等を図る取組を支援します。
令和7年度補正予算で措置した「畑地化促進事業」と併せて実施。



- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| ① 畑地化支援 | ② 定着促進支援(①とセット) |
| ★高収益作物 7.0万円/10a | ★高収益作物 2万円/10a×5年間 |
| ★畑作物(高収益作物以外) 7.0万円/10a | ★畑作物(高収益作物以外) 2万円/10a×5年間 |
| ※畑地化(交付対象農地から除外)した年1回限りの支援 | ③産地づくり体制構築等支援 |
| ※団地化や畑地化後5年間の継続作付等の要件を満たす必要 | ④子実用とうもろこし支援 1万円/10a |

◇ コメ新市場開拓等促進事業

- ・対象作物 ①新市場開拓用米 ②加工用米 ③米粉用米(パン・麺専用品種の限定を外し、対象品種を拡大)
- ④酒造好適米
- ・支援単価 ①4万円/10a ②3万円/10a ③9万円/10a
- ④取組年数に応じて最大3万円/10a(1年あたり1万円×最大3年間)
- ※①②③について、多収品種を作付する場合、0.5万円/10aを加算

加工用米・新規需要米の取組計画等の変更について

6月末が提出期限である加工用米・新規需要米の取組計画書や水田活用の直接支払交付金の申請に係る営農計画書等について、その変更を8月20日まで受付(相手方との契約変更が前提)

「アス→ノウ」プロジェクトの現地調査に同行しました！



「アス→ノウ」プロジェクトとは、農林水産省の若手職員による、「明日に向かって農に取り組む選手たちを応援する」ため、新しい政策の検討を進めるプロジェクトです。兵庫県拠点では、3月12日、13日の2日間、プロジェクトメンバーとともに、神戸市で農業との連携を進める方々や就農した元アスリートにお話を聞きました。

HPでフォトレポートを掲載しています
(兵庫県拠点HP)

【3月12日】 【3月13日】



3月12日は、神戸市役所にてビーツ専門の食品メーカーBETTE(ベッテ)と意見交換を行った後、楽天ヴィッセル神戸株式会社を訪問し、意見交換を行いました。

アスリートと農業をつなぐ可能性や、現役・元アスリートが農業に関わる際の課題等について、現場での実例を踏まえた貴重なお話を伺いました。



【右から、BETTE 創業者 山田真輝さん(代表)と酒井高聖さん】

3月13日は、プロ野球選手引退後に神戸市西区で農業を始めたC-farm稲垣将幸/クリスさんのカフェレストランを訪問し、意見交換を行いました。

野球を引退してから農業を始めるうえで苦労したことや、元アスリートならではの農業のお話を聞かせていただきました。

貴重な機会をいただき、両日とも、今後の活動において大変有意義な意見交換になりました。

「アス→ノウ」プロジェクト
(農林水産省HP)



【写真中央、稲垣 将幸/クリスさんとプロジェクトメンバー】

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしております。

TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp